

機 械 設 備 特 記 仕 様 書									
1. 建 築 概 要									
工 事 名 称		山崎中学校長寿命化改修工事（1期）							
建 築 場 所		栄栗市山崎町庶沢88-2							
建 築 用 途		中学校							
建 築 規 模		建 築 面 積		延 床 面 積					
階 数									
構 造 種 別		○ 木 造		○ S 造		○ RC 造		● SRC 造	
決 定 構 造		○ 木 造		○ 準耐火		● 耐 火		○ 内装制限の有無 ○ 有 ○ 無	
2. 一 般 事 項									
*		本工事は、特記仕様書、社団法人公共建築協会編公共建築工事標準仕様書 （機械設備工事編）（同標準図）【令和7年度版】、他諸規則により施工する。							
*		この工事に関係する法律、政令、省令、告示、条例、各地方団体の内規、基準及び、指針等はよくこれを 遵守し必要ある届け出手続き等は、請負者が代行する。但し此に要する費用は全て請負者の負担とする。							
*		設計図書が互いに相違する場合、明記ない場合、又は疑義を生じた場合は、全て係員の指示に従う。							
*		工事施工に際し現場の納まり又は取り合い上器具の取付位置、取付方法の軽微な変更は係員の指示に従って行う。 この場合請負金額の増減はしない。							
*		現場代理者は、着工に先立ち建設工事請負者及び、他の別途工事者との打ち合わせの上、工程表及び施工計画書を 作成し係員の承諾を受ける。又工事の施工上必要な製作図、その他施工図は事前に係員の承諾を受ける。							
*		工事引き渡しの際、実際の施工を基準とした竣工図及び、保守に関する関係資料を各3部、及び予備品 その他納入品を明細書と共に提出する。							
3. 工 事 項 目 【●印を適用する】									
● 給水設備工事		● LPガス設備工事		● 空調機器設備工事		○ 排煙設備工事			
○ 給湯設備工事		● 消火設備工事		● 空調配管設備工事		○ 自動制御設備工事			
● 排水通気設備工事		○ 浄化槽設備工事		○ 空調ダクト設備工事					
● 衛生器具設備工事		○ 厨房機器設備工事		● 換気機器設備工事					
○ 都市ガス設備工事		○ 浴槽循環設備工事		● 換気ダクト設備工事					
4. 工 事 項 目 【●印を適用する】									
● 給水設備工事	給水方式 水 源 受水槽 高架水槽	○ 水道直圧 ● 公共水道 ● 本工事 [● FRP製 ● 建築工事 ○ 本工事 [○ FRP製 ○ 建築工事 * 給水工事は市認定業者にて施工の事。 * 建物内給水栓は、全て節水コマ取付とする。	● 高架水道 ○ 簡易水道 ○ 井 水 ○ SUS製 ○ 単板 ● 複合板]	○ 加圧ポンプ ○ 井 水 ○ SUS製 ○ 単板 ○ 複合板]	○ 既設管連絡				
○ 給湯設備工事	給湯方式 熱 源	○ 個別方式 ○ 電 気	○ 中央方式 ○ ガ ス	○ 既設管連絡 ○ 石 油 ○ A重油					
● 排水通気設備工事	排水方式 放流先 通気方式 会所築造	汚水雑排水 ● 公共下水道接続 ○ 伸長通気 ○ 既設品会所 ● 小口径桝	屋内 [○ 合流 ○ 側溝、水路 ○ 回路通気 ● 迷がし通気 ○ 現場打金所 ● 樹脂製桝	屋外 [● 合流 ○ 分 流] ○ 河 川 ○ 既設会所接続					
● 衛生器具設備工事	図示位置に [○ AYボルト ○ 木ネジ] にて、堅固に体裁よく取り付ける。 尚、タイル目地は、接続に支障無い限り合わせるものとする。 陶器色 ●スタンダード色 ○パステル ○ハーベスト ○ファンシー ○その他指定色 図示品番は便宜上、東陶機器並びにタイトルの品番を用いる。								
● ガス設備工事	○ 都市ガス 種別 ○1.3A ○6C 11000Kcal/m ³ 【大阪ガス責任施工】 ● LPガス 12000kcal/kg 集合装置 【プロパンバルクタンク 980kg】 ● 既設管に接続 ガスメーター 【○買い取り ○別途納入業者負担】								

消火設備工事

● 屋内消火栓
○ 屋外消火栓
消火水槽
配管

[● 1号消火栓 ○ 2号消火栓]
○ 炭酸ガス消火
○ 本工事
● 充水方式

○ スプリンクラー
○ 連絡送水管
● 既設品再利用
○ 乾式方式

浄化槽設備工事

方式
処理人数
処理水
躯体安全荷重

○ 合併処理 ○ 単独処理 [○ 分離バッキ ○ 分離接触バッキ]
人 [J I S - A - 3 3 0 2]
m³ / 日 B O D P P M S S % 以下
○ 標準仕様 [5 0 0 k g / c m ²] ○ 重荷重仕様 [1 5 0 0 k g / c m ²]

空調設備工事

○ 設計
温度条件

場所
条件

屋 外
温度 (DB)
湿度 (WB)

屋 内
事務、食堂
車庫、物置、パーカー、サード
温度 (DB)
湿度 (WB)

水道、高度、井戸
温度 (DB)
湿度 (WB)

冬季 0 . 4 ° C — % 22 . 0 ° C 22 . 0 ° C 20 . 0 ° C
夏季 36 . 0 ° C — % 26 . 0 ° C 25 . 0 ° C 18 . 0 ° C

※換気による外気負荷は、選定換気量と関係なく、室面積による一人当たり 20㎡とする。

換気設備工事

方式
既設利用
外壁ガラリ
防虫網の有無

● 個別換気 ○ 中央換気 策 [○ 1種 ○ 2種 ● 3種]
○ 機器類 ○ 個別換気
(○ 建築工事 ○ 本工事)
(○ 給気ガラリ ● 排気ガラリ)

5 、使用材料

材 料	規 格	管 種	給水管	給湯管	汚水管	排水管	通気管	ガス管	消火管	冷媒管	ドレン管	ダクト	使用範囲	
													施工区分	
● 硬質塩化ビニール管	VP H1S-K6741						○ ○ ○				○		(L) 部はTMP	
○ 硬質塩化ビニール管	VU J1S-6741												150φ以上	
● 耐衝撃性ビニール管	H1VP JWVA-K116		○											
○ 塩ビライニング鋼管	VLP黒JWWA-K116													
○ 排水用塩ビライニング鋼管	DVLP WSP-042													
○ 耐熱塩ビライニング鋼管	HTLP WSP-043													
○ 内外面ライニング鋼管	VD WSP-034													
○ 外面ライニング鋼管	VS (消火管用)												(A) 屋内、屋外公	
○ ポリ粉体ライニング鋼管	PB白 JWVA-K132													
○ 配管用炭素鋼管	SGP黒JIS-63452													
○ 配管用炭素鋼管	SGP白JIS-63452							○ ○					炭油配管(屋外露出配管)	
○ ステンレス鋼管	SU JIS-63448												新油配管(屋外露出配管)	
○ 継目無し脱炭鋼管	L.M JIS-H3300													
○ 被覆耐熱鋼管	L JIS-H3300													
○ 冷媒用被覆鋼管	LタイプJIS-H3603									○				
○ 排水用JIS鋳鉄管	CP JIS-65525													
○ 排水用メカニカル鋳鉄管	CP JIS-65525													
○ 石綿ビニール二層管	TVP JIS-65525													
○ 鉛 管	LP HASS-203													
○ ヒューム管	HP JIS-A5303													
○ 外面ポリエチレン被覆鋼管	PLP (キロンパイプ)												(A) 部	
○ 大阪ガス指定管材														
○ 亜鉛引鉄板	JIS-63302												角風道管	
○ スパイラルダクト	SP										○		丸風道管	
○ フレキシブル保温ダクト	不燃材料 (建築法第2条9号)													
○ 水道用ポリエチレン管														
○ 使 用 範 囲														
(A) 地中埋設部			(F) 器具接続廻り			(K) 道路本管接続部								
(B) 立上り以降			(G) PS内水量器廻り			(L) 防火区画貫通前後1m以上								
(C) バイブシャフト内			(H) 受水槽給水装置廻り			(M) その他の部分								
(D) 床下トレンチ内			(I) 流し裏立上り部			(N)								
(E) スラブ転がし部			(J) 各住戸内部			(O)								

6．特記補足事項

【●印を適用する】

○

シーリングプレートは、白色プラスチック製とする。

○

各戸の量水器設備は、市水道規格に係る防凍防寒被覆を行う事。

○

延焼線にかかるダクト開口部、換気扇枠には防火ダンパーを設ける。

●

屋外埋設配管は埋戻す際には埋設表示テープを埋設し、分岐及び曲部には表示杭を設置する。

●

受水槽マンホールは、キー式（南京錠）とし、G・Vには全て表示板を取付する。

●

パルプは直圧部、排水系統、加圧給水系統はJIS10K、その他はJIS5Kを用いる。

●

塩ビラインック 鋼管の継手は管端防食継手を使用し、パルプは50A以下で管端コフ付パルプ
65A以上は鉄鉄製ナイロライニングパルプを使用する。

7．保温防露仕様

	天井内	PS内	配管 BOX内	スラブ既し	トレンチ	屋内露出	機械室	屋外露出	流し裏	埋 設
● 給水管	A	A	A		I	C	K	D	B	
● 汚水排水管	A	A	A			C	K	D	B	
○ 給湯管										
○ 冷却水配管										
○ 冷温水配管										
○ 冷暖配管										
○ 消防配管										
○ ドレン管										
○ ガス配管										

インベイ

A ホームポリアルミガラスクロス化化粧保温箔＋アルミガラスクロス粘着テープ
B グラスウールアルミガラスクロス化化粧保温箔＋アルミガラスクロス粘着テープ

屋内露出

C フォームポリ保温箔＋粘着テープ＋合成樹脂塗膜カバー2

屋外露出
多湿箇所

D フォームポリ保温箔＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋カラー至鉛鉄板
E フォームポリ保温箔＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋ステンレス鋼板
F 錆止め塗装＋鋼合ペイント2回塗

埋 設

G ペトロラタム系防水テープ' 1／2重ね巻き
H 防食用ビニールテープ' 1／2重ね2回巻き

床下トレンチ

I フォームポリ保温箔＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
J グラスウール保温箔＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス

屋内露出
(機械室＋倉庫)

K フォームポリ保温箔＋粘着テープ＋アルミガラスクロス
L グラスウール保温箔＋鉄線＋原紙＋アルミガラスクロス

コンクリート内

M 防食用ビニールテープ' 1／2重ね2回巻き

*

保温厚については、標準仕様書に依る。

*

給湯管、温水管の保温筒は、グラスウール保温筒に読み替える。

*

防水区画貫通配管及び壁導の保温筒は、ロックウール保温筒に読み替える。

8．凡 例

種 別	符 号	種 別	符 号	種 別	符 号
給水管(市水)	——— ———	冷却水管(送)	———CD———	仕切弁	———X———
給水管(井水)	——— ———	冷却水管(返)	———C D R———	逆止弁	———Z———
給湯管(送)	———I———	冷温水管(送)	———CH———	スレーナー	———S———
給湯管(返)	———II———	冷温水管(返)	———C H R———	量水器	———M———
雑污水管	———	冷排水管	———R———	水位観	□ ———■
汚水管	———●———	オゾン用配管	———OG———	床上掃除口	———●———
通気管	———-----	膨張管	———E———	床排水金物	———●———
消火栓管	———x———	空調ドレン管	———D———	ガスコック	———G O———
ガス管	———G———	食油管(送)	———O———	ガスメーター	———GM———
蒸気管(送)	———/———	食油管(返)	———OR———	屋内消火栓	———F———
蒸気管(返)	———//———	バキューム配管	———V———	連絡送水口	———H O———

9．特記事項

1. 完成引き継ぎの際は各種工事の予備品、鍵類等備品一式を提出する。

2. 防水区画を貫通する部分の穴埋めは完全に行い法規に定められた保護を行う

3. 本設計図に記載なくとも、工法上、施工上、当然必要な弁類、温度計等は係員の指示により
諸負金額の変更なく行う事。

4. 指示及び吊りボルト、吊りバンド等はSUS製を使用する。

5. 屋外、各地中埋設配管には埋設表示杭を設ける事

6. 埋設配管管理戻しは山砂仕様のこと。

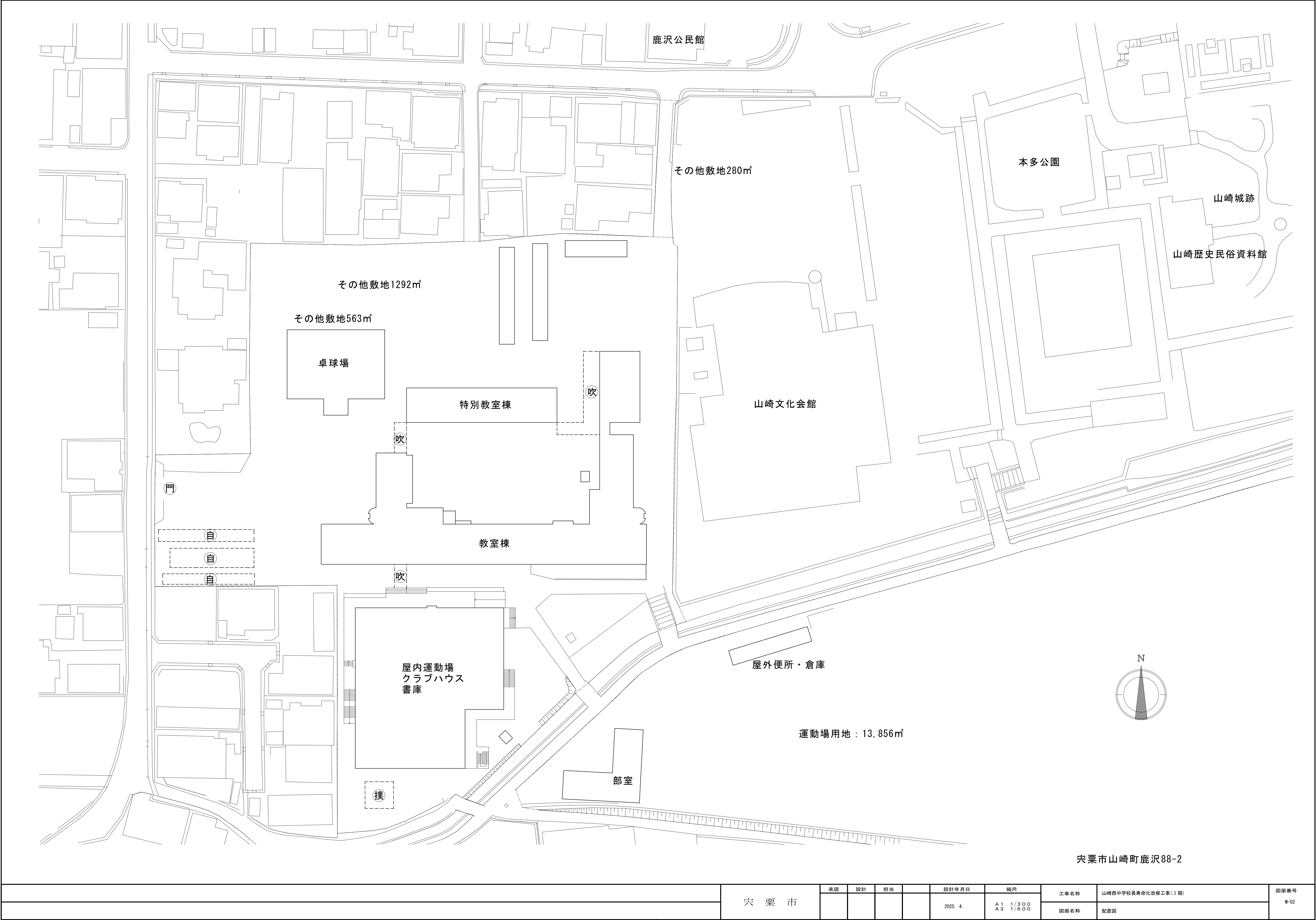
注記：尖栗市「 給水設置工事施設指針 」 に基づいた材料使用及び施工を行う事。

メーカーリスト				
使用材料		製作所名		
ポンプ	荏原製作所	川本製作所	テラル	鶴見製作所
	日立製作所			
パッケージ型エアコン	ダイキン工業	東芝キヤリア	日立アプライアンス	三菱重工業
	三菱電機	パナソニック エコシステムズ		
吹出口、吸込口、ダンパー	空研工業	新晃工業	協立エアテック	
換気扇	東芝キヤリア	日立産機システム	パナソニック エコシステムズ	三菱電機
送風機	荏原製作所	テラル	日立産機システム	パナソニック エコシステムズ
合成樹脂製水槽	積水化学システム	三菱樹脂		
銅製タンク	ホーコス	森松工業	ベルテクノ	
衛生器具、水栓	L I X I L	T O T O		
消火器具	立売堀製作所	日本ドライケミカル	能美防災	ヤマトプロテック
	横井製作所			
排水金具、蓋	ダイドレ	カネソウ	小島製作所	長谷川鍊工所
	福西鋳物			
銅管	J F E スチール	新日本製鐵	住友金属工業	
ライニング 銅管	J F E スチール	新日本製鐵	住友金属工業	積水化学工業
	三菱樹脂	クボタ		
耐火二層管	昭和電工建材	フネアクロス	エーアント` エー マテリアル	
ビニール管	クボタシーアイ	積水化学工業	三菱樹脂	
銅管	コヘ`ルコ マテリアル銅管	住友軽金属工業	古河電気工業	
弁類	キッツ	栗本鐵工所	大和バルブ	東洋バルブ
	ベン	前澤化成工業	旭有機材工業	本山製作所
	ヨシタケ			
伸縮継手 (SUS)	トフレ	フシマン	テクノフレックス	ヨシタケ
	ゼンシン			
防振継手 (ゴム)	東洋ゴム工業	ブリヂストン	横浜ゴム	T O Z E N
	ゼンシン			
ガス漏洩器	大阪ガス	ノーリツ	パロマ	リンナイ
	パーパス			
バルク貯槽	富士工業	中国産業	桂精機	神鋼J F E 機器
ろ過機	理水化学	三進ろ過工業	ローレル	トースイ
	東洋濾水機			

※同等品以上とする。

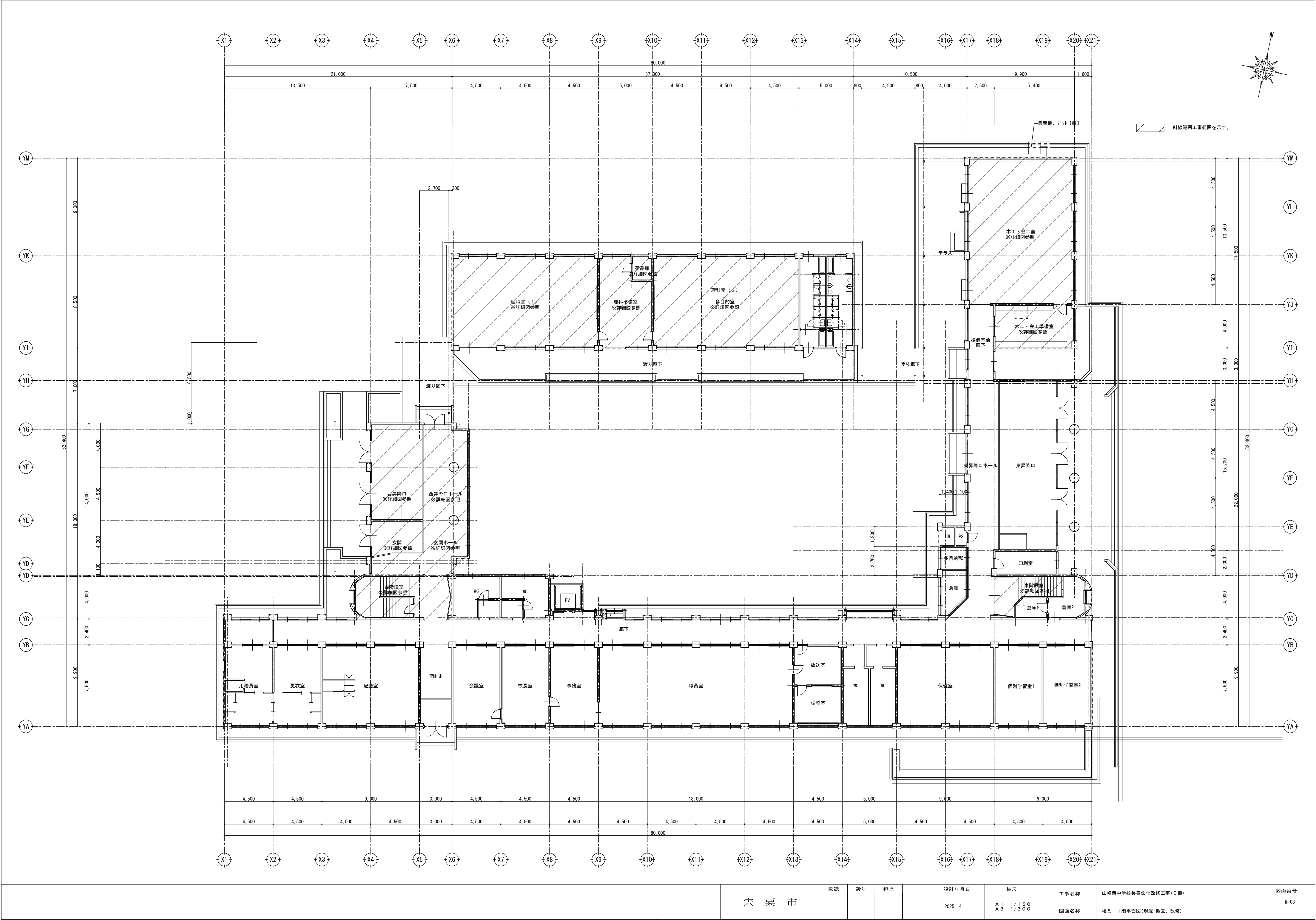
[illegible]

	栄 栗 市	承認	設計	担当		設計年月日	縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿命化改修工事(1期)	図面番号 M-01
						2025. 4.	A1 - A3 -	図面名称	特記仕様書	



宍粟市山崎町鹿沢88-2

	宍粟市	承認	設計	担当		設計年月日	縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿命化改修工事(1期)	図面番号 M-02
						2025. 4.	A1 1/300 A3 1/600	図面名称	配置図	



	宍 粟 市	承認	設計	担当	設計年月日	縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿命化改修工事(1期)	図面番号 M-03
					2025. 4.	A1 1/150 A3 1/300	図面名称	校舎 1階平面図(現況・撤去、改修)	

撤去-衛生器具表							
名称	品番	木金工室・準備室	木金工室・手洗い・足洗場	理科室（1）	理科準備室	理科室（2）	合計数量
銅長水栓	T-123B-13		3				3
自在水栓	T-136B-13	2					2
万能排水水栓	T-200S-13		2				2
自在水栓	T-136S-13			3	2	3	8
流し排水金物	T14B P-50	1				1	2
流し排水金物	T13BP-50			1			1
床上掃除口	COA-75			2			2
床上掃除口	COA-65					3	3
床上掃除口	COA-50	1		1	1		3

現況-空調機器表							
記号	機器名称	仕様・附属品	台数	設置場所		備考	
				階	室名		
AC-2 (取外し)	パッケージエアコン（EHP）	型式： 天吊カセット 能力（定格）： 消費電力（定格）： 圧縮機： 1.79kw	シングル 冷房 10.0kw 暖房 11.2kw 3.39kw	電源： 3φ200V	2	1	1階 理科室（1） 室外機基礎 室外機防護ネット パイプ・リモン 分岐管

撤去-換気機器表					
記号	名称	仕様	数量（台）	電源	備考
EF-1	換気扇	天井扇 φ150	1	1φ100V	暗室
F-1	換気扇	壁付25cm 電気式シャッター	8	1φ100V	金工木工室(6)・金工木工準備室（1）・理科準備室（1）
F-2	換気扇	壁付30cm 電気式シャッター	8	1φ100V	理科室（1）・理科室（2） （4）

撤去-換気機器表						
記号	名称	仕様	木金工室	理科室（1）	理科室（2）	合計数量
FF-1	石油ファンヒーター FF式	暖房能力：7.0kw 1φ100V 排気トップ共	2	2	1	5

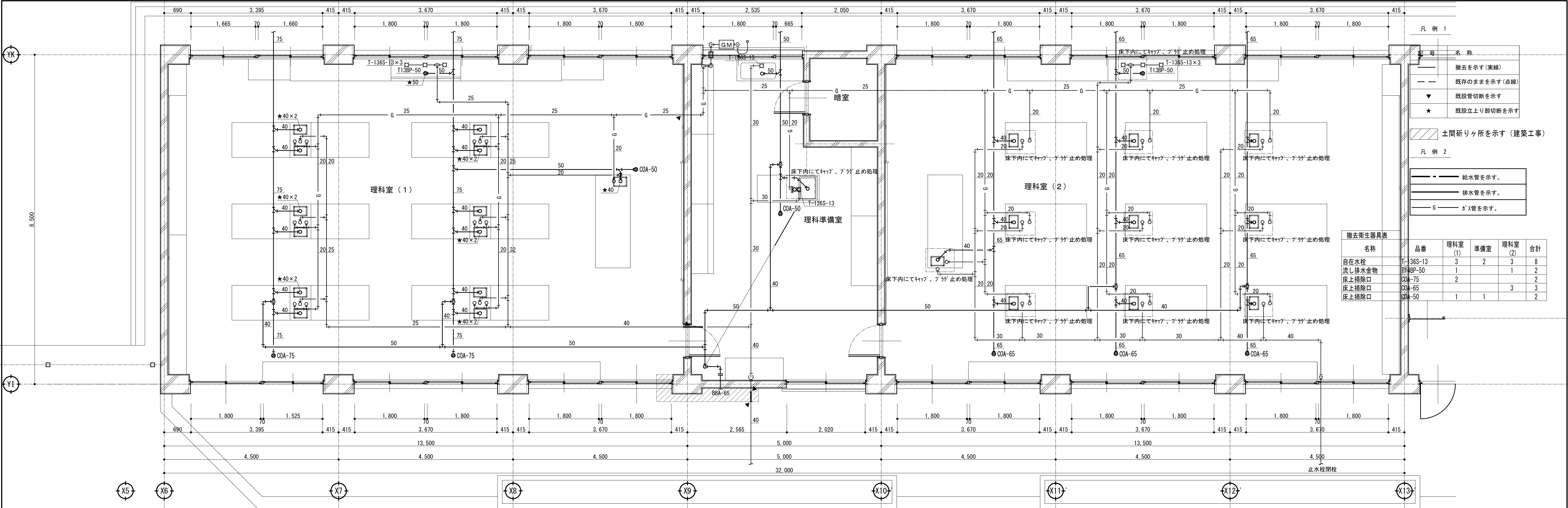
撤去-機器表						
記 号	名 称	設 置 場 所	仕 様	電 源	数 量	備 考
$\frac{P}{2}$	屋内消火ポンプユニット	屋外機械室	認定型 80φ×600L/min×60m×11.0kw GV、CV、圧力計、連成計、ヒートカット、サクションカバー、フート弁、その他附属品一式	3 ^Φ 200 ^V	1	RC基礎（建築工事）

新設-衛生器具表							
名称	品番	木金工室・準備室	木金工室・手洗い・足洗場	理科室（1）	理科準備室	多目的室	合計数量
立水栓	T-136SUNR-13	3		3	1		7
横水栓	T-236NR-13C		7				7
万能排水水栓	T-200SNR-13C		2				2
流し排水金物	T14BA-K(SU) 50		1				1
流し排水金物	T14AA-K 50	1		1			2
床上掃除口	COV2-75			2			2
床上掃除口	COV2-65					3	3
床上掃除口	COV2-50	1		1	1		3
ストレート止水栓	T4BU			7			7
排水トラップ	1/2B			13			13

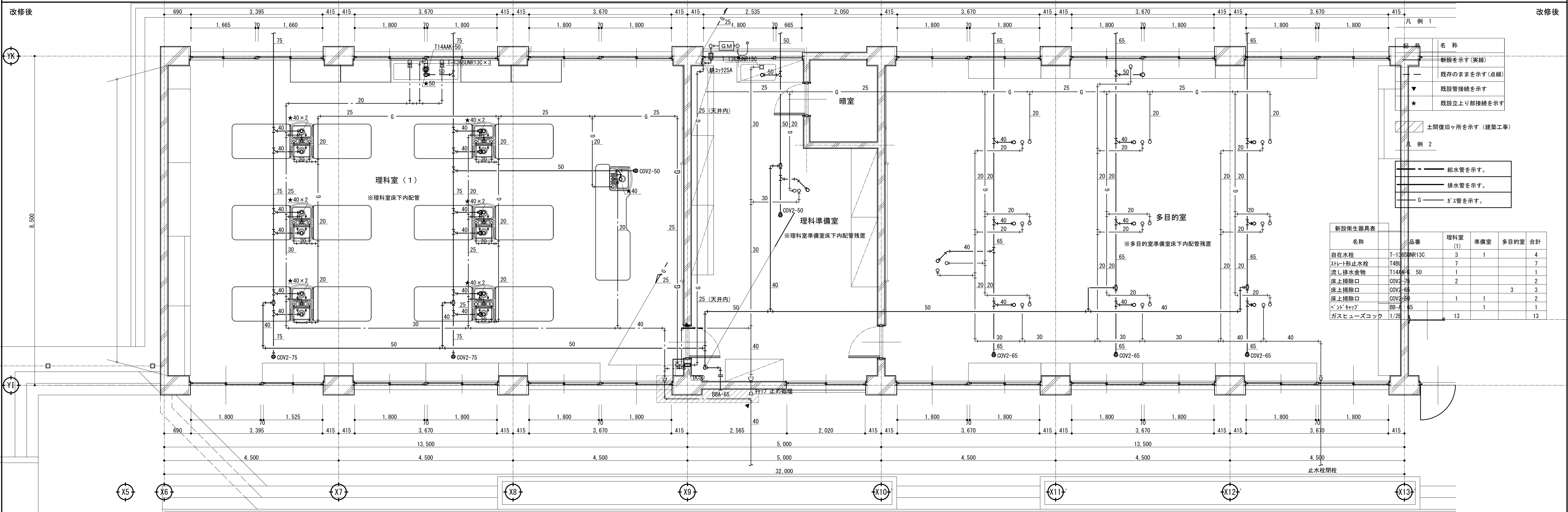
新設-空調機器表							
記号	機器名称	仕様・附属品	台数	設置場所		備考	
				階	室名		
AC-1 (新設)	パッケージエアコン（EHP）	型式： 天井4方向吐出 能力（定格）： 消費電力（定格）： 圧縮機： 2.83kw	シングル 冷房 14.0kw 暖房 16.0kw 3.76kw	電源： 3φ200V	2	1	1階 金工木工室 室外機基礎（コンクリートブロック） 自動昇降付きパネル 高性能フィルター 室外機防護ネット 転倒防止金具 パイプ・リモン
AC-2 (再取付)	パッケージエアコン（EHP）	型式： 天吊カセット 能力（定格）： 消費電力（定格）： 圧縮機： 1.79kw	シングル 冷房 12.5kw 暖房 14.0kw 2.86kw 3.39kw	電源： 3φ200V	2	1	1階 理科室（1） 室外機基礎 室外機防護ネット パイプ・リモン
AC-3 (新設)	パッケージエアコン（EHP）	型式： 天吊カセット 能力（定格）： 消費電力（定格）： 圧縮機： 2.36kw	シングル 冷房 12.5kw 暖房 14.0kw 4.20kw 3.71kw	電源： 3φ200V	2	1	1階 多目的室 室外機基礎（コンクリートブロック） 室外機防護ネット 転倒防止金具 パイプ・リモン

新設-換気機器表							
EF-1	換気扇	型式： 天井扇 消費電力： 1.9W	100φ 電源： 1φ100V	風量： 85m3/h SUS深型7φ150φ（防虫網付）	1	1	暗室 防振吊金具
F-1	換気扇 格子タイプ	型式： 窓枠据付け 消費電力： 38W 電機式シャッター	250φ 電源： 1φ100V	風量： 860m3/h SUSウェザーカバー（防虫網付）	8	1	金工木工室（6台） 金工木工準備室（1台） 理科準備室（1台） コンクリート（電気工事支給）
F-2	換気扇 格子タイプ	型式： 窓枠据付け 消費電力： 48W 電機式シャッター	300φ 電源： 1φ100V	風量： 1190m3/h SUSウェザーカバー（防虫網付）	8	1	理科室（1）（4台） 多目的室（4台） コンクリート（電気工事支給）

新設-機器表						
記 号	名 称	設 置 場 所	仕 様	電 源	数 量	備 考
$\frac{FPD}{1}$	屋内消火ポンプユニット （国土交通省仕様） （日本消防安全センター認定品）	屋外機械室	50φ×50×300L/min×89.0m×11.0KW GV CV FJ（500L） 圧力計 連成計 制御盤 その他付属品一式共	3 ^Φ 200 ^V	1	RC基礎（既設再利用） NKP-B-NXF50×50-5-611-e （参考品番）

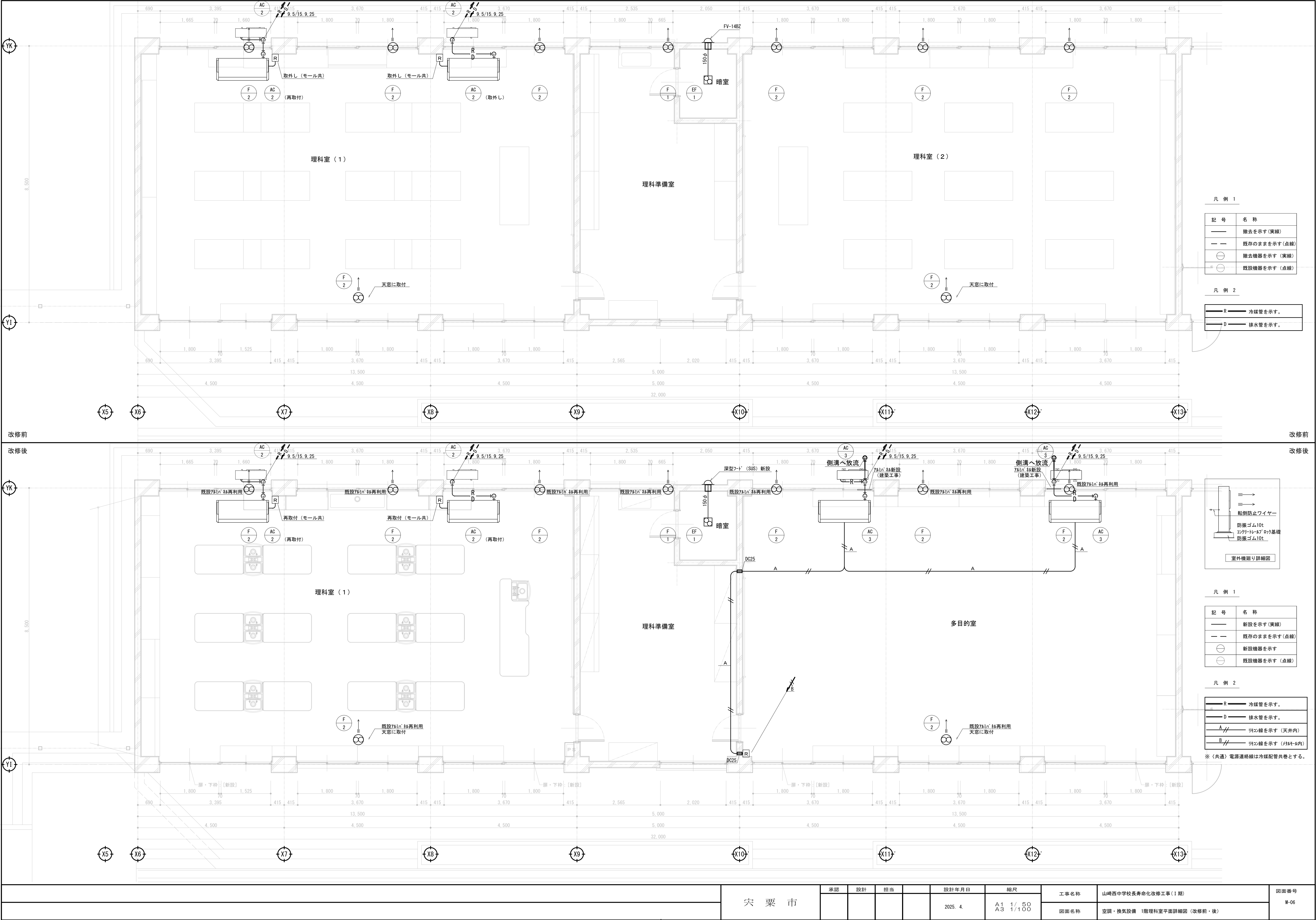


改修前

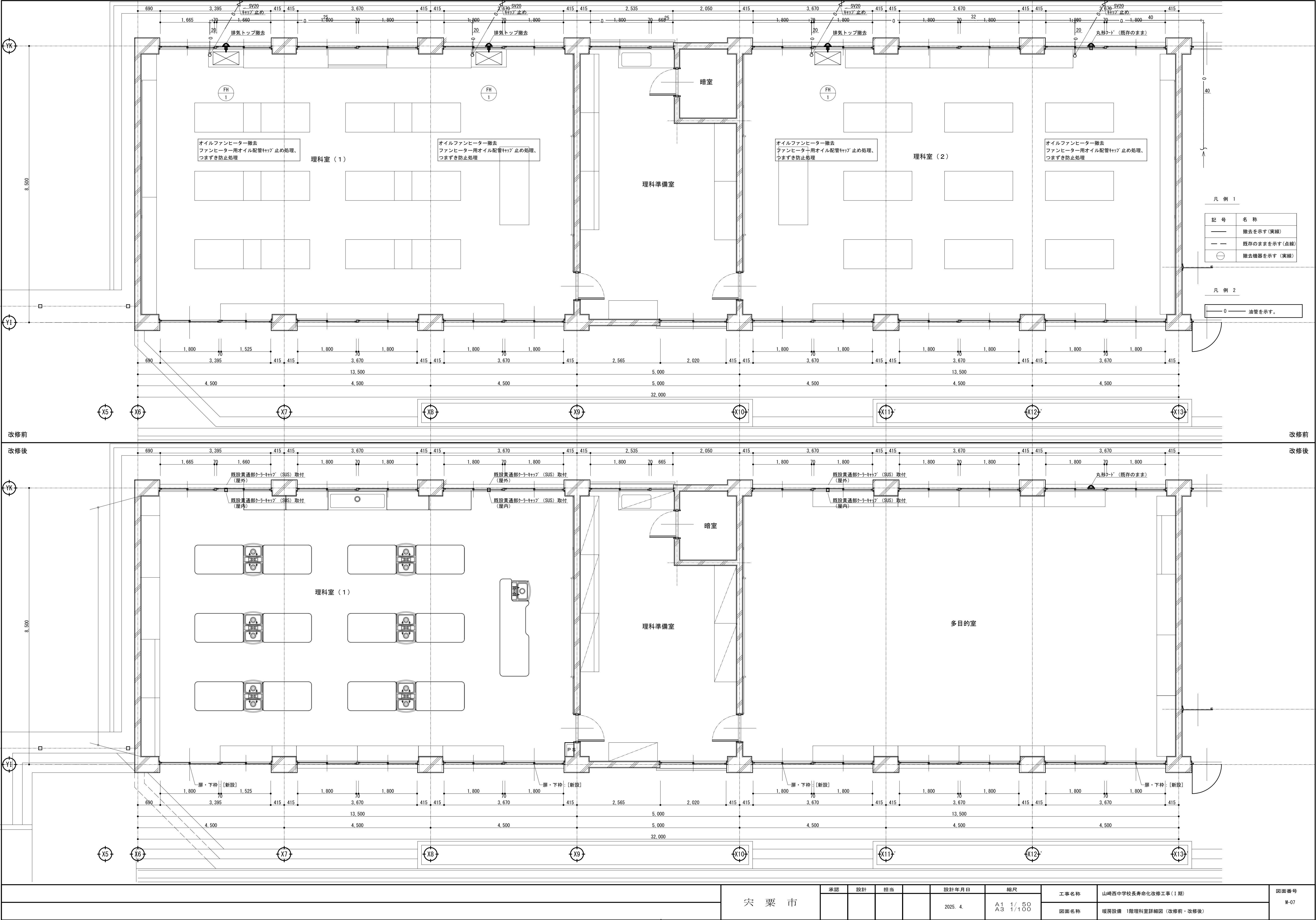


改修後

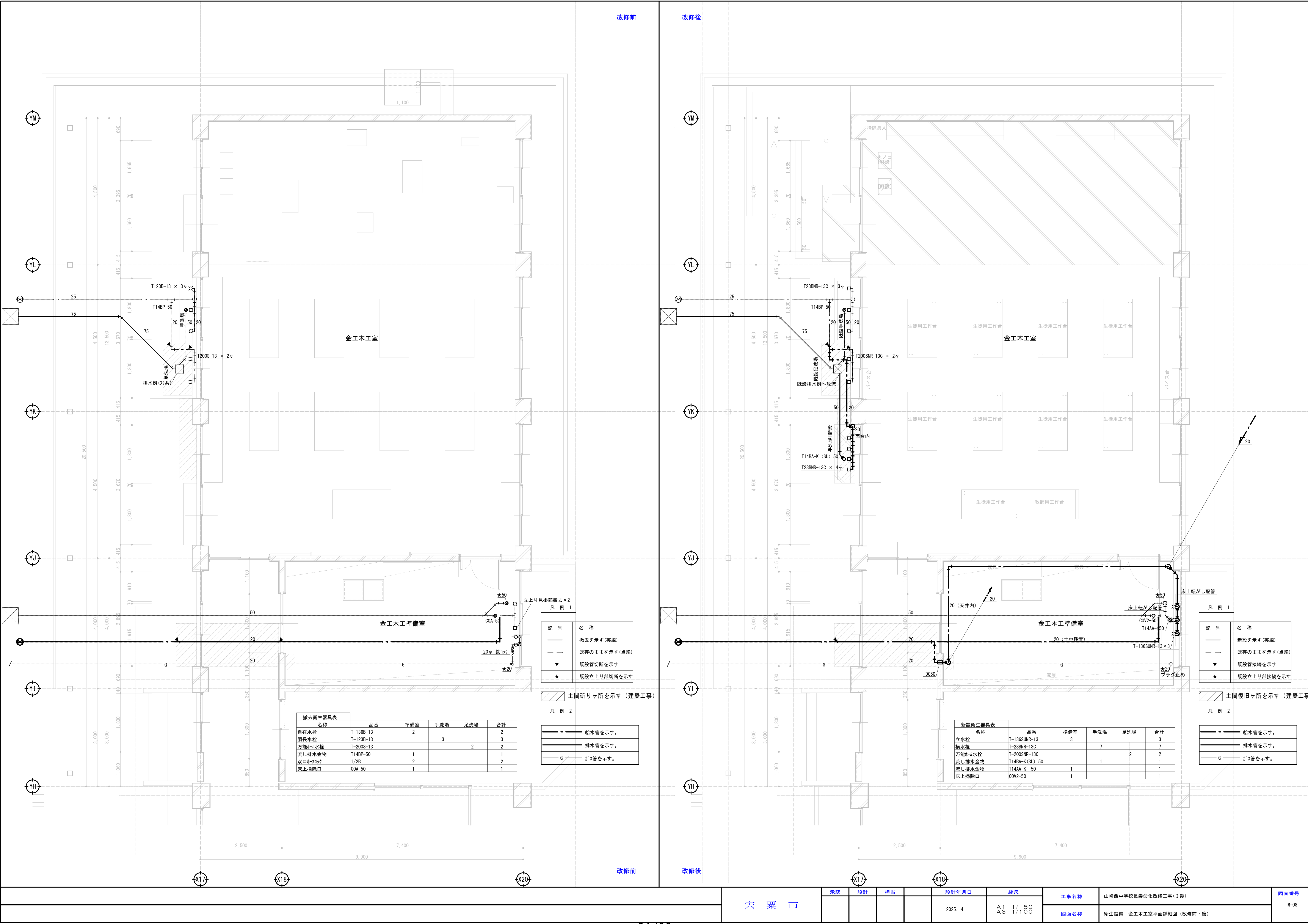
	実栗市	承認	設計	担当		設計年月日	縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿命化改修工事(1期)	図面番号 M-05
						2025. 4.	A1 1/50 A3 1/100	図面名称	衛生設備 1階理科室平面詳細図(改修前・後)	

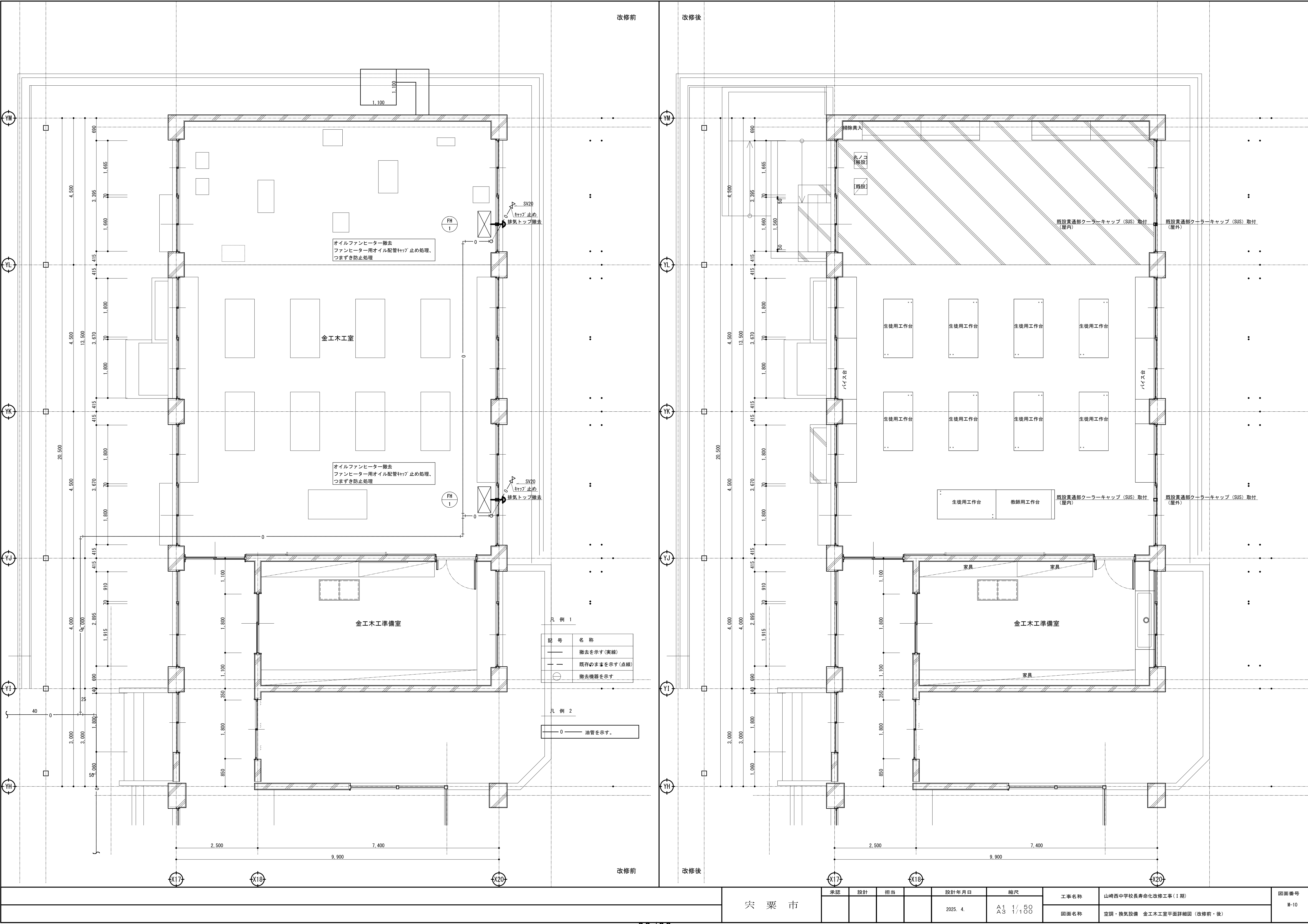


				承認		設計	担当	設計年月日		縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿命化改修工事(1期)	図面番号 M-06
改修後								2025. 4.		A1 1/50 A3 1/100	図面名称	空調・換気設備 1階理科室平面詳細図(改修前・後)	



						実 栗 市	承認	設計	担当		設計年月日	縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿命化改修工事（1期）	図面番号 H-07
											2025. 4.	A1 1/50 A3 1/100			





山 栗 市	承認	設計	担当	設計年月日	縮尺	工事名称	山崎西中学校長寿化改修工事(1期)	図面番号 M-10
				2025. 4.	A1 1/50 A3 1/100	図面名称	空調・換気設備 金工木工室平面詳細図 (改修前・後)	